



3月に入り、だいぶ春らしい天気が増えてきました。コロナウイルスが世間を騒がせていますが、今回はその話題から離れ、私の息子のことをお話ししたいと思います。3月で2歳になる息子ですが、日々、新しい成長を見せてくれます。先日、大浜の海洋展示館でウミガメの餌やりをしたことで、「カメ！」と言えるようになり、カメブームが始まりました。笠利町にある、『原ハブ屋奄美』でハブを見てからは「ヘビ！」と言えるようになりヘビブーム。そして、2月末には、満面の笑みで「ハロー！」と英語で私に手を振り、英語まで覚え始めたかっ！と成長の早さに驚いています。愛の浜園にも何度か連れて来たことがあり、自然と利用者さんとふれあい、また、利用者さん達も「子どもは？」「元気にしてるね？」と聞いてくれます。「共生社会」(地域でみんなと一緒に暮らせるようにまた、お互いに良い影響を与えあえるように)これからも愛の浜園の行事に出来るだけ一緒に参加して、利用者さんと触れ合いながら成長してもらいたいな・・・と思う親の気持ちでした。(副主任:恵(拓))

3月行事予定表

3日(火): 体重測定・血圧測定
18日(水): 避難訓練
24日(火): 健康相談
26日(木): 旧桃の節句

3月お誕生日
おめでとう
ございます!



満林 アツ子さん



栄 徹さん



岡山 いずみさん

総合防災訓練

ご利用者・地域の安全の為に...

2月25日(火)に総合防災訓練を実施しました。今回の訓練は、消防署から2名の隊員に来ていただき、利用者の皆さんの避難状況や指示を出している職員の動き等をチェックしてもらい、それを元に訓練後の反省会で、色々なアドバイスを頂き、その後、消火器や室内消火栓を使った消火訓練を職員が行いました。いざという時に、利用者を安全に避難出来るように、今後も訓練を重ねていきたいと思っています。

(記事:名島)



奄美市まなび・福祉フェスタに参加しました

2月23日(日)、「奄美市まなび・福祉フェスタ」が奄美文化センターにて開催されました。多くの福祉事業所や企業団体が参加するイベントであり、愛の浜園も物品販売(農産物や陶芸品・手工芸等)に参加してきました。当日の天気は快晴という事もあり、多くの人で賑わう中、販売員を務めた職員は、来店されたお客様に利用者さんが製作した陶器(カップや植木鉢(観葉植物付き))や大島紬で製作した作品の説明しながら、出品した作品を多くの人々に購入して頂きました。また、今回の販売に携われたことで、愛の浜園の取り組みについても、多くの人に知ってもらえたのではないかと思います。ご来場いただきました皆様、本当にありがとうございました。(記事:田畑)



祝 *91歳* 美味しい食事を食べて元気に過ごしてくださいね



1年前の誕生日は長い食欲不振からようやく立ち直った頃で、食事を楽しんでほしいという思いから、ごちそうのケータリングを計画中でしたが、実施できず、代わりに他の職員達が『おめでとう! ヨシエさん 祝 90歳!』の垂れ幕を作成し、皆でお祝いをしてくれました。担当としては、お祝いのごちそうを準備できず、とても残念で「来年こそは!」と、今年の誕生日はとても楽しみでした。パースデケーキに蠟燭をとめて吹き消すとき、ヨシエさんも口をとがらせ吹き消そうとした様子を見て、職員一同感激しました。以前に暮らしていた沖縄を思い出すかな?と思いつつ少しだけ入れてもらったミミガー(豚の耳の味噌漬け)も、うなずきながら食べてくれました。ヨシエさんは今まで何度も入院、体調不良を繰り返しながらも復活してきた強い方です。この1年は入院せず食欲も戻り、お元気に過ごされています。これからも園での生活をゆっくりと楽しんでいただけたよう支援していきたいと思うとともに、来年の誕生日は何をしようかとワクワクしています。(記事:牧口)

思い出に残る作品を... 知根小学校・陶芸体験交流

2月12日(水)に知根小学校の5年生3名、6年生1名による体験交流がありました。今回は愛の浜園で取り組んでいる陶芸で、コップやどんぶり作りを体験してもらいました。作り方を説明すると、みんな自分なりに取り組み、上手に作品を作っていました。私の実家には、私が小学生の時に愛の浜園の陶芸体験をした時に作った大きな鈴があります。二十数年前に作った作品を見て、あの頃を懐かしく思い出しました。今回参加した知根小学校の児童の皆さんも、作品を見て懐かしく思い出してもらえたらと思います。(記事:恵(拓))

虐待防止・権利擁護研修に参加して

チームで支援して行く事の大切さ

1月30日(木)に、徳支援員と二人で障害者虐待防止・権利擁護の研修に参加してきました。虐待の種類、虐待が行われていたらどう対応するか、施設での虐待防止に向けての取り組み等、研修してきました。講義の中で、職員が当たり前の様に行っている支援でも、第三者がみたら虐待にあたる支援もある。その疑問を職員間で話し合い、虐待防止に繋げて行く事が大切とありました。私も自分が行っている支援を振り返り考えるいい機会になり、個人で支援を行うのではなく、チームで支援して行く事が大切だと感じました。この研修をいかし、これからも利用者さんが安心して楽しく生活出来るように取り組んでいきたいと思っています。(記事:隈元)

大島地区障がい関係施設職員研修会

2月8日(土)、大島地区障がい関係施設職員研修会が瀬戸内(せとうち)町のきゅら島交流館であり、愛の浜園からは17名の職員が参加しました。120名近くの参加者が16のグループに分かれ、昨年度に続き、星窪きらりの大坂 太一(おおさか たいち)施設長を講師に「職場におけるコミュニケーションとは」と題して講義が行われました。少し緊張気味の中、昨年と同様に自己紹介じゃんけんから始まり、緊張がほぐれ会場の雰囲気が温まったところで研修が始まりました。午前中は、障害者福祉の歴史を学び、知らない言葉や気になる言葉を各自スマートフォンで調べ、得た情報をグループで共有しながら理解を深めました。そして休憩時間には、幹事園のなのはな園の皆さんが準備して下さった手作りのお菓子を美味しく頂きました。午後からは「私ってこんな人」「私を支えてくれた人」など自分を振り返るの個人ワーク、グループ内での分かち合いをし、最後に自閉症スペクトラム症について学び、障がい特性を十分に理解した上で支援する事が大切だと改めて感じました。

そして、お待ちかねの交流会では、施設ごとの余興を楽しみながらあっという間に時間が過ぎていきました。年に一度の大島地区の研修会、昼の研修も大事ですが、夜の部で親睦を深め、私たちの気持ちが一つになる事が何よりの研修だと思います。帰宅してから、今日一日を振り返り、これからも自分なりに頑張ろうと思いつつ、カバンに忍ばせ持ち帰ってきた手作りのお菓子とコーヒーで一人反省会をしました。(記事:大田)



ノーリフトケアを目指して

男性棟に入浴リフトを導入しました。



1月29日に男性棟浴室に介助用リフトを設置しました。女性棟浴室には5年ほど前に導入していましたが、男性棟浴室にはなく、車椅子の利用者の方は、職員の介助によって入浴を行ってきまして。リフトを導入した事で、利用者の方もよりいっそう安心・安全に入浴する事ができ、職員の腰の負担軽減にも繋がると思います。これからも、利用者の方が安心・安全に生活できるよう、環境を整えていきたいと思っています。(記事: 隈元)

理事長と語ろう会



2月17日(月)、愛の浜園の多目的ホールで「理事長と語ろう会」が行われました。慈愛会スタッフ2300名を持つ今村 英仁(いまむらひでひと)理事長との意見交換会は、とても貴重な時間となりました。「人材確保について」「地域との連携強化」「高齢化について」「働き方改革について」等々、施設が抱えている課題や問題点を直接、質問し、その場で丁寧に説明して頂きました。「福祉の未来」は、地域の資源を十分に活用し、地域のサービスと連携を図りながら、その人に合った人生スタイルを提供していく。障がい、高齢、子ども、誰もが地域で「自分らしく」生きていく為のお手伝いをする事が私たち福祉人の役目だと感じました。1時間半という短い時間ではありましたが、理事長から頂いた言葉を明日からの仕事の活力にして取り組んでいきたいと思っています。(記事: 辻原)



2月の愛の浜園



レクリエーション



誕生会



総合防災訓練



奄美市まなび・福祉フェスタ



先月の記事を覚えていますか? 「さとうきびを食べたい!!」と話されていた利用者さんの事を。念願のさとうきびを園長先生が剥いてくれました。お味は2人だけの秘密です。

就労継続支援B型事業 手芸等作業風景

